

「日本の核物理の将来」 レポート作成について

はじめに

核物理委員長
東北大理 田村裕和

動機

- J-PARC, RIBFが稼動した今、我々の20年、30年先の将来は？
.....ニューマトロン計画挫折から30年
我々は現状に満足して受身になっていないか？
- 私自身も、J-PARC以外の施設の将来構想をよく知らない。
若い人はなおさら？
そもそも、他グループ・施設のことを知っているのだろうか？
自分たちのグループ・施設の将来計画を考えているのだろうか？
広い視野をもって将来を考えているのだろうか？
- 今後基礎科学への予算が一層厳しくなる。
他分野や一般市民に向けて我々の研究の意義と将来性を十分
アピールできるのか？
いざというとき、原子核コミュニティの中で優先度を議論できるか？
- 高エネルギーでは、将来計画を高エネルギー研究者会議や若手の
入った委員会でいつも議論している。順位づけも。
原子核には全体構想、将来構想がないとの批判。

お願い

若い人たちが積極的に議論して、我々自身が納得でき、後輩や他分野に自信をもって示すことができる、質の高いレポートを作成してください。

これを機会に、各自の将来に対する責任感と、このコミュニティの中でこうした議論を行う土壌を育ててください。